

健やかほうふ21計画(第二次)

～みんなでつながり思いやる健やかなまち「ほうふ」～

健やかほうふ21計画(第二次) 推進についての振返り



令和6年2月1日(木)
防府健康増進課
(保健センター)

みんなでつながり思いやる健やかなまち「ほうふ」の実現に向けて

【現在】
健康づくり推進中!!

健康寿命の
延伸

健やかな親子を
育む

食育の推進

令和7年度
最終評価

令和6年度
最終評価のための
市民アンケート

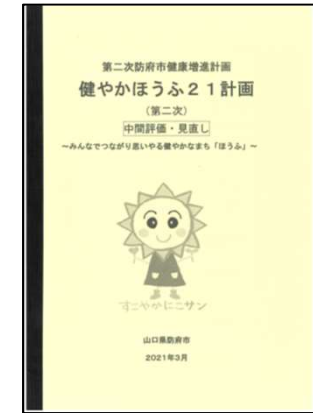
令和2年度
中間評価

平成27年度 計画策定



計画推進の目的

国や山口県の動向・防府市の現状や課題をふまえ…



★市民一人ひとりが主体的・継続的かつ一体的に、健康づくりや食育に取り組むことができること

★家庭・地域・学校・職域・行政等が一体となって、健康づくりに取り組むこと

推進委員会でも、「世代ごと」や「分野ごと」に課題を分析し、各個人や各団体が一体となることができることを考えたり、意見を出し合ったりしてきました。



令和5年11月2日部会

★家庭・地域・学校・職域・行政等が一体となった取組

＊第2回健康づくり推進のつどい （にこフェス）を振り返ろう



グループワークでの意見	今後の方向性
・にこフェスに参加していない人にもアプローチできるとよい。 ・SNSでの周知、QRコードの活用した申込が良かった。 ・チラシにブースの様子や配置図など具体的な内容を掲載したらイベントのイメージがしやすい。	◎にこフェス参加者以外へもイベントの内容を伝え、健康づくりを啓発する。 ⇒ ★保健センターホールに掲示 ⇒ ★市ホームページに掲載 ◎ターゲット世代（親世代）に情報を届けるために、引き続きSNSやQRコードを活用した取組の工夫を継続する。 ◎チラシを作成する際に、具体的内容が伝わるよう、図や写真を取り入れるなど案内を分かりやすく工夫する。

令和5年11月2日部会

★家庭・地域・学校・職域・行政等が一体となった取組

＊リーフレットの活用について
話してみよう！



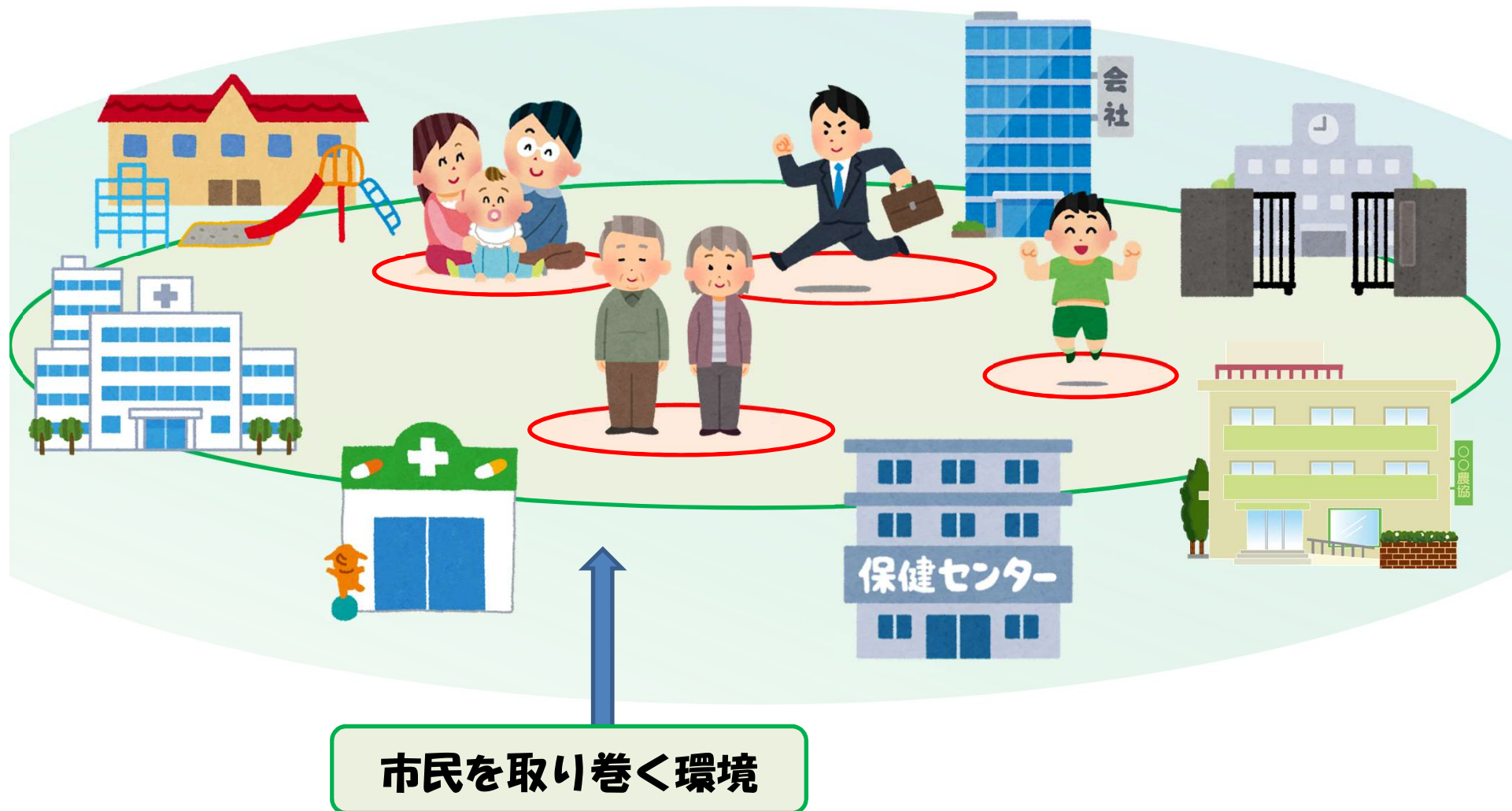
グループワークでの意見

- ・医療機関、薬局などの待合に設置すると、自身の健康に関心が向いている人が多いため手に取ってもらえる。
- ・公民館などの公共施設のトイレに貼る。QRコードがあると読み取ってみる人は多いためQRコードだけでも貼るとよい。
- ・やまぐち健幸アプリをもっと知ってもらいたい。

今後の方向性

- ◎効果的な対象や方法での配布
⇒★市内の丸久店舗に設置
⇒★医療機関、歯科医院、薬局の待合に設置
- ◎乳幼児健診に来られた保護者に、健康づくりのポイントを伝えて渡す
- ◎リーフレットやQRコードを掲示する
- ◎やまぐち健幸アプリを広く普及し、健康づくりの推進につなげるために、内容の充実を図る。

個人が健康状態を改善しやすいまち防府市へ



社会環境の質の向上も、計画の推進のひとつです。
現状や課題をふまえ、自分なり(自分たちの団体なり)に健康づくりに向けた取組を継続する
⇒防府市民が個人の行動と健康状態の改善がしやすいまちにつながります。

地域でも様々な団体・個人で取組をしています

小学校新入学生に歯ブラシを配り、お口の健康の啓発活動に力を入れ始めました。

健康相談や測定イベントを開催しました。

この委員会で小学生の体力測定結果を知り、子ども達から高齢者まで参加できるプロギングイベントを企画しました。

保育園・幼稚園ではプランター野菜を育てるなど、食育に力を入れて取り組んでいます。

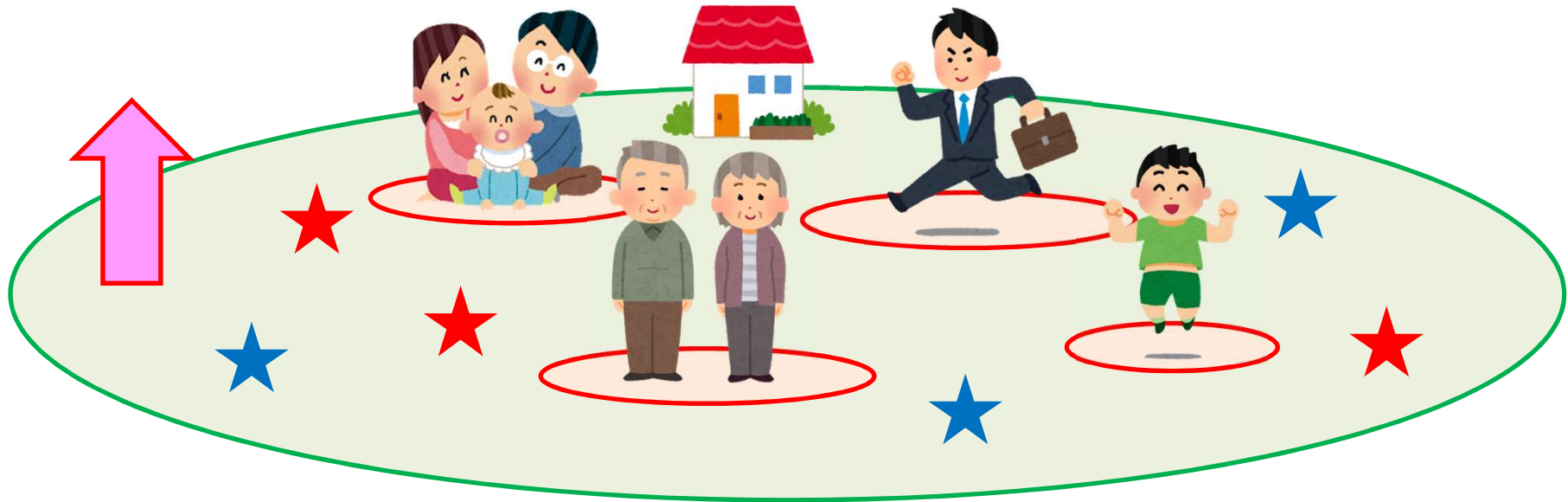
やまぐち健幸アプリの事業所登録をして、職員に呼びかけました。グループでウォーキングに取り組むようになりました。

職場で健康診断の話を伝えることで、健康づくりの話題をするようになりました。

最近までヘビースモーカーだったが、この委員会に参加して意を決して禁煙したおかげで、規則正しい生活になりました。



「さらに健やかで、より心豊かに 生活できる持続可能なまち」の実現に向けて



【意見交換】 資料3をご覧ください。

- ★ 個人が推進してきたことや各団体で取り組んだことを振り返ってみましょう。
- ★ 今後も市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境を作るために、自分なりにできることや、あったらよいと思うことを共有しましょう。